

認定証

殿

現代霊気法基礎研修を終了し
初伝(第一段階)を授与したことを
認定します

令和 年 月 日

現代霊気ヒーリング協会公認
霊気マスター 吉田健太郎

認定証見本(個人名)

認定証

殿

現代霊気法上級研修を終了し
奥伝(第二段階)を授与したことを
認定します

令和 年 月 日

現代霊気ヒーリング協会公認
霊気マスター 吉田健太郎

認定証

殿

現代霊気法 特別研修を終了し
神秘伝(第三段階)を授与したことを
認定します

令和 年 月 日

現代霊気ヒーリング協会公認
霊気マスター 吉田健太郎

認定証

殿

現代霊気法極意皆伝研修(第四段階)を
終了し 霊気マスター(師範)を授与した
ことを認定します

令和 年 月 日

現代霊気ヒーリング協会公認
霊気マスター 吉田健太郎

認定証

殿

あなたは当センターの霊気講習会において
現代霊気法 基礎研修 を終了されました
ここに 初伝(第一段階)を授与し 認定します

令和 年 月 日

現代霊気ヒーリング協会公認
やすらぎ霊気センター
代表 毛利菊枝

認定証見本(団体名)

認定証

殿

あなたは当センターの霊気講習会において
現代霊気法 上級研修 を終了されました
ここに 奥伝(第二段階)を授与し 認定します

令和 年 月 日

現代霊気ヒーリング協会公認
やすらぎ霊気センター
代表 毛利菊枝

認定証

殿

あなたは当センターの霊気講習会において
現代霊気法特別研修を終了されました
ここに神秘伝(第三段階)を授与し 認定します

令和 年 月 日

現代霊気ヒーリング協会公認
やすらぎ霊気センター
代表 毛利菊枝

認定証

殿

あなたは当センターの霊気研修会において
現代霊気法極意皆伝(第四段階)を終了されました
ここに 霊気マスター(師範)として認定します

令和 年 月 日

現代霊気ヒーリング協会公認
やすらぎ霊気センター
代表 毛利菊枝

認定証の様式について

令和1年5月1日現在

現代霊気法セミナー受講者に交付する「認定証見本」についての解説です。

1. 現代霊気法セミナーは必ず対面で行い、新規受講者には、そのつど認定証を発行して、終了したレベルを証明してください（認定証を発行しないと、終了レベルの確認が出来ないため、受講者に不利益を与えることになってしまいます）。ただし再受講や再学習は、新たなレベルを認定するものではないので、発行する必要はありません。
2. マスターを認定した場合は、臼井先生から自分までのエネルギーの系統図を作成して認定証とともに渡してください。系統図と認定証の2つで、臼井先生から受講者までの流れが証明できます。臼井先生から受講者までの系統図を作成して、渡しても結構です。
3. 「認定証見本」には、個人名で発行する場合と、団体名（スクール名など）を使用する場合の2種類を記載しましたが、これを参考に独自のものを作成されても結構です。ただし、次の点にご留意下さい。
4. 現代霊気ヒーリング協会の正メンバー（代表者から直接認定を受けたマスター、再学習のみの受講は除く）も、それ以外のマスターも、認定証の文章は同一で結構です。第四段階の「極意皆伝」は、文字のバランス上「極意伝」に変更しても構いません。
5. 現代霊気ヒーリング協会公認（または認定）とは、代表者のスクールを終了したという意味です。したがって、協会公認（認定）と記載できるのは、正メンバーだけです。
代表者が認定したマスターを継続フォローするため、セミナーを何度でも無料で再受講して頂くことにしていますが、その対象者を協会正メンバーとしています。
（「代表者からのメッセージ」に記載しているQ&Aをご参照ください）
それ以外のマスターは、現代霊気ヒーリング協会公認（認定）の箇所を「現代レイキシステム」「現代霊気ヒーリングシステム」などに変更して記載してください。
単に「現代霊気法マスター」「現代レイキマスター」とされても結構です。
6. 認定証に押印する印鑑は、適当なものをご使用ください。ただし「現代霊気ヒーリング協会」またはこれと紛らわしい表現のものは避けてください。
7. 必要があれば、外国語に翻訳した文章を、表面または裏面に加えても結構です。
なお、英訳文については、ご希望があれば提供いたします。
8. 世界共通のグレードを保ち、マスター同士の価値観を共有するため、現代霊気法で使用していない表現（ディグリー、ティチャーなど）の使用は避けてください。